

■■■■ 防災推進センターシンポジウムを開催しました ■■■■

令和2年1月11日（土）に、高知大学防災推進センターシンポジウム「災害に立ち向かう新たな技術の動向 —高知大学の取組—」を開催しました。

シンポジウムでは主に行政における災害への対策の現状と、高知大学が取組む新たな技術の動向を広く県民の皆様を紹介し、災害への取組の理解を図るとともに、パネルディスカッションにより、今後の災害対応に関する本学の技術の開発・研究の方向性を探りました。

第一部では、近年頻発する水害の発生状況と水害対策の動向について国土交通省高知河川国道事務所長より紹介いただくとともに、本学教員より新たな技術による激しい気象の監視、仮想現実（VR）を使った防災訓練ツールの開発、デジタル道路地図の防災計画への活用法や課題等を紹介しました。第二部では、高知県危機管理・防災課長より高知県の防災に向けた新たな取組が紹介され、その後防災行政における解決すべき課題についてパネルディスカッションが行われました。質疑応答では、会場に集まった参加者から、時間いっぱいまで質問があり、盛況のうちに終了することができました。

防災推進センターでは研究や防災のノウハウをプラットフォームとして様々な専門的知識の提供を継続的に行っており、来年度以降もシンポジウムの開催を予定しています。



櫻井学長による開会の挨拶



パネルディスカッション①



パネルディスカッション②